

1. はじめに

少子高齢化問題が深刻化し、高齢者の一人暮らしが多くなってきました。皆さんは遠く離れた場所に住んでいる家族が心配になり、会いたくなかったことはありませんか？でも時間がなくて会いに行けない、なんて経験をした方も少なくないはず。そんな悲しい思いとはおさらば！ふすまを開けるだけで会える新感覚コミュニケーションシステム「Live 部屋」で解決してみせましょう！

2. Live 部屋の特徴

遠くにいる家族が隣の部屋に！というコンセプトで開発しました。例えば図1のように東京都に住んでいる息子夫婦と広島県で一人暮らしをしている祖母がいます。お互いに会いたくてもなかなか会うことができない。こういった状況があるのではないのでしょうか？電話の場合だと声を聴くことはできますが顔を見ることはできません。また用事がないと電話をかける機会が少なくなり寂しいです。しかし！Live 部屋を使用することにより、ふすまを開けるだけで遠く離れた部屋をつなげ、まるで隣の部屋同士で行われる家族との日常的なコミュニケーションがとれます。Live 部屋は今日の日本で失いかけている“こころ”の距離を埋めるものです。

3. Live 部屋のこだわり

Live 部屋の一番の特徴は見た目がふすまということです。その理由として、相手の部屋の様子を映すだけなら、壁に映像を投影するだけで可能です。しかし、これでは部屋と部屋をつなぐという感覚はありません。部屋と部屋の境目にはドアやふすまなどの扉があります。高齢者にも親しみを持ってもらえるように日本人らしいふすまにしました。また高齢者の方は機械に弱く避ける傾向があります。そこで使用する際に抵抗がないように機器類を全てふすまの内部に入れ、ふすまの外観を損なわないようにしました。

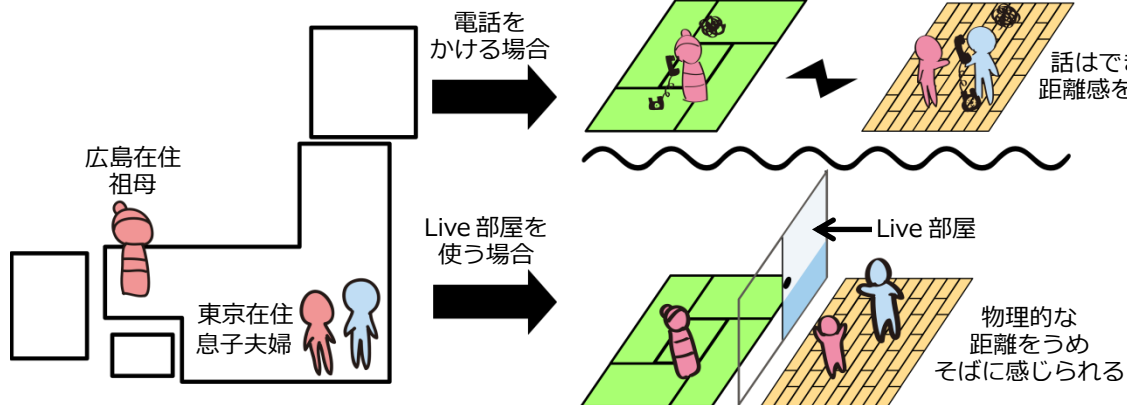


図1 使用イメージ

使い方は非常に簡単で、ふすまを開けるだけという日常的な動作だけで、遠く離れた部屋同士をつなげます。

4. Live 部屋構成

Live 部屋の構成は図2のようになっており、ふすまにはスイッチ・マイコン・タブレットPC・リモコン・Webカメラが内蔵されています。またLive 部屋サーバを構築し、ユーザ管理や相手側のLive 部屋とのデータ通信を行えるようにしました。

処理の流れは次のようになります。①ふすまが開閉したことを知らせます。②マイコン・Webカメラ・プロジェクタの電源を入れます。③Live 部屋サーバを通じて映像・音声の送受信を行います。この時タブレットPCで映像・音声を圧縮します。④受け取った映像・音声を展開し、再生します。

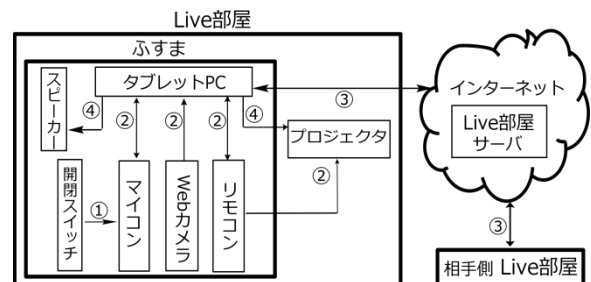


図2 Live 部屋の構成

5. おわりに

Live 部屋を使うことで部屋をつなぎ、遠く離れた家族と簡単に会うことができます。ふすまを開けるだけで家族団らんできる。そんな明るい未来をLive 部屋が叶えてくれるでしょう。

謝辞

Live 部屋に使用しているふすまは広島県竹原市にある岩崎表具店様の全面協力のもと作成しました。ありがとうございました。